

11月ちびっこ落語の学校

令和6年11月12日

椎葉村立
不土野小学校

学校HP二次元コード→



尾向小と合同で行う 2校間交流 秋の遠足(11/1)

秋の遠足は、毎年尾向小学校と合同で行っています。今年は、山都町馬見原体育館と通潤橋見学に行きました。馬見原体育館では、尾向小学校の児童が考えてくれた3つの遊びをして楽しく過ごしました。そのまま昼食となり、「弁当の日」で自分なりに取り組んで作ったお弁当を食べました。みんなとても上手につくってきていました。その後、通潤橋に移動し放水の様子等を見学しました。流れ出る水の量に驚いていた様子でしたよ。見学後記念写真を撮りました。雨が心配でしたが、ここまでは降ることなく見学が終わってから降り始めました。お空がみんなの見学終了を待っていてくれたようです。

尾向小学校とは、ふだんから「椎葉村ユニット学習」(オンライン授業)と一緒に楽しく行っています。1年ぶりの遠足で思い出に残る楽しい1日となりました。これからもなかよくいろんな交流をしていきたいですね。



うなぎの放流(10/28)

1～4年は初めて、6年は1年の時以来の体験で楽しみにしていました。始めに椎葉村漁業協同組合の甲斐左右吉様からご挨拶と記念品の贈呈がありました。椎葉稔様から放流の手順を説明していただいた後、学校下の川に下りていき放流をしました。初めのうちは、ヌルヌルしているうなぎを上手につかむことができず苦労していた子どもたちですが、しだいにコツをつかんで無事放流することができました。不土野の川で大きく育ててほしいですね。

貴重な体験をさせていただきました椎葉村漁業協同組合の皆様、ありがとうございました。



11月

11～12月の不土野小の予定

12月

月	火	水	木	金	土	日
11月11日	12日 鑑賞教室 (13:50～15:35)	13日 計画委員会 (みんなのためにできることを)	14日	15日 村へき地教育研究大会 (椎葉小にて)～特別校時	16日 村PTA・家庭教育 学級合同研究大会	17日
11月18日	19日 150周年実行委員会	20日	21日	22日	23日 勤労感謝の日	24日 椎葉中学校修学旅行(～27日)
11月25日	26日	27日 みやざき学カテスト(4年)	28日	29日	30日	12月1日 県PTA研究大会
12月2日	3日 全校朝会 参観日(持久走大会) ・学校保健委員会・式典会場設営	4日	5日 クラブ	6日 英検ESG(6年) 持久走大会予備日	7日 不土野神楽	8日 不土野神楽
12月9日	10日	11日	12日	13日	14日 古枝尾神楽	15日 古枝尾神楽

※ この通信を作成した段階の予定です。感染症対策やその他の理由で、変更になる場合があります。

～裏面にも記事があります～

集合学習2回目、陸上大会(5・6年)

集合学習の2回目が行われました。1・2年生が10/15(火)～16(水)、3・4年生が10/17(木)～18(金)、5・6年生が10/24(木)～25(金)でした。他の学校の友達と一緒に学習したり遊んだりして、充実した時間を過ごしていました。



↑【1年生】↑

↑【2年生】↑

↑【4年生】↑

6年生は、24日に村のグラウンドで「陸上大会」が開かれました。雨で十分な練習ができなかったのですが、それでも練習の成果を発揮し、記録更新目指してがんばりました。また、他校の児童ともさらになかよくなるよい機会ともなりました。

入賞者は下記の通りです。

【3位までの入賞者】

☆ソフトボール投げ6年… 結夏さん1位(35m59cm)
 ☆100m走6年…… 隼翔さん1位(15秒1)
 ☆50mハードル走6年… 隼翔さん1位(9秒5)
 ☆50mハードル走6年… 碧煌さん3位(10秒3)
 ☆走り幅跳び6年…… 隼翔さん1位(3m80cm)
 ☆学校対抗リレー… 不土野小3位(1分6秒75)
 敢太さん、愛莉さん、碧煌さん、隼翔さん

⇒
【6年生】
⇒



25日は、椎葉小で修学旅行の振り返りや図工の学習を行いました。

集合学習はまた来年となります。さらに成長した姿で再会できるといいですね。6年生は中学校で一緒になり、新たな生活のスタートです。

村内6年生が集う「村を見つめる修学旅行」(10/9～11)

椎葉村の修学旅行は、ただの修学旅行ではありません。「村を見つめる修学旅行」という名前です。今年の修学旅行も長崎・熊本方面に行きました。村内の6年生全員で行く修学旅行では、他の市町村の特色をまなび、ふるさとのよさも見つめ直すという目的があります。観光地では、観光客の方々に声をかけ、椎葉村のパンフレットを渡し、村のよさを紹介する活動も組まれています。

様々な活動を通して、学んだこともたくさんあったと思います。お家の方々ははじめ、多くの方々への支えがあったからこそ行けたんだという感謝の気持ちも忘れずに大切な思い出として、心に刻んでおいてほしいと思います。

